

平成29年度 第9回西日本放送番組審議会

開催年月日 平成30年1月16日(火) 14:00～16:00
開催場所 西日本放送岡山本社 3階会議室
委員の出欠 委員総数 8名
出席委員数 7名

出席委員の氏名

高	嶋	克	洋	委員長
河	藤	明	子	委員
佃		昌	道	委員
鈴	森	賢	史	委員
大	倉	美	恵	委員
小	槌	和	志	委員
森	下	聖	史	委員

欠席委員の氏名

守	家	祥	司	委員
---	---	---	---	----

社側の出席者

中	村	卓	朗	(代表取締役社長)
富	永		久	(取締役総務局長)
中	川	弘	之	(岡山本社中国総支社長)
中	川	洋	一	(営業局長)
采	野	友	啓	(ラジオセンター長)
吉	田		剛	(報道制作部長)
椎	野	良	明	(岡山報道制作部長)

事務局

山	本	博	司	(報道業務部長兼事業部長 兼放送審議室長)
香	川	豊	宏	(編成業務部兼放送審議室)
山	本	峰	子	(放送審議室)

平成29年度第9回番組審議会議事次第

開催日 平成30年1月16日(火) 14:00～16:00

場 所 西日本放送岡山本社 3階会議室

〔議 事〕 議事進行 高嶋克洋委員長

社側挨拶 代表取締役社長中村卓朗

1. 議題 テレビ番組

『 年末報道特番 「覚えていますか? 2017」 』

2. 質疑応答

〔参考資料〕

○ 第7回番組審議会議事録

○ 社報 No.447

○ 視聴者対応 11月

○ タイムテーブル 冬号

○ BPO報告 No.182

○ 月間民放 1月号

○ 民間放送(新聞) 12月13日・23日・1月3日

〔次回開催予定〕

開催日 平成30年3月6日(火) 14:00～16:00

場 所 西日本放送高松本社 5階役員会議室

TEL087-826-7241

議 題 テレビ番組

『 NNNドキュメント2018

生きて、咲く ～瀬戸の少女とハンセン病～ 』

放送日 平成30年2月4日(日) 24時55分～25時25分

※後ほどDVDをお送りする予定です。

制 作 RNC西日本放送テレビ

【連絡先】

番組審議会事務局 山本峰子

Tel:087-826-7241

Mail:ban-shin@rnc.co.jp

以上

議事概要(1/16) 第9回

今回は、テレビ番組『年末報道特番「覚えていますか？2017」』を視聴していただきました。

委員の皆さまからは、全体的にはよくまとまっており、年の暮れにふさわしい番組だったように思う。

1 年間、よくこれだけの画像を集められたとびっくりした。また内容もとても充実していた。キーワードであったり、動物繋がりだったりなど、いろんな形で繋いでいて、非常に丁寧につくられていたように思う。

とくによかったのは、ある時期上がったニュースのその後がどうなったのかなというところを、少し追ってくれていたところである。

この種の番組は全国ネタをいかにローカルに導いていくかという点で非常にご苦労があったと思うし、苦労の後が十分窺える番組になっていたと思う。

前半 2 パートは今年の漢字の「北」から話題を展開したことも、今年らしさを最大限に発揮したものと好感が持てた。

豊島の産廃は、前のことも入っていたほうがよかったのではないかな。日本全体を揺るがしたような産廃問題だったので、長い間のという言葉があったほうがよかったのではないかなと思う。

地域の放送局として、地域のニュースをどういうふうに捉え、その地域をどう導いていくという語弊があるかもしれないが、どういうふうの流れをもっていこうかというメッセージ性というか、そこにもう少し踏み込んでよかったのではないかなという気がする。

今年は景気も良くなってきているという中で、明るい年になるような期待のあるトピックを少し入れていただくとよかったように思った。

アナログ世代の高齢者にデジタル化の恩恵をどう与えるか、その課題を見つけるような番組に期待したい。等の意見がありました。

制作者側からは、メッセージ性、あるいは深堀りというご意見がありましたが、それは報道番組として当然心がけることだと思っています。この番組は年末の総集編のため、各コーナーを深くしていくことに厳しいものがあり、これについては毎年ジレンマを感じるところです。全体的に地域の人口減少や過疎化の問題、それから今後ますます加速するAIやデジタル化に地方がどう対応していくか、これは非常に大きな問題だと思いますので、今年1年、時代を総括できるような企画を展開していきたいと思っています。旨が述べられました。